



世界に希望を生み出そう

脇町ロータリークラブ

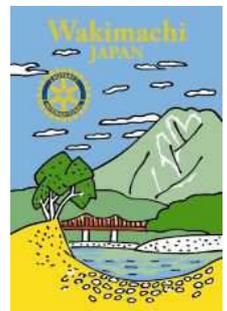
第2670地区

徳島第2分区 脇町ロータリークラブ

2023年10月12日 木曜日

第14回例会 No. 2853

会員総数:40名 出席者26名 修正出席率:65.00%



●メーキャップ

●会長挨拶

佐藤順二副会長 秋本番、素晴らしい季節となりました。

NHK 大河ドラマ【どうする家康】は御覧になっている方はおいででしょうか。視聴率10%前半ですから、あまり関心がないでしょうか。私も信長が本能寺で殺される頃から見ようになりました。先日の放映は、晩年に生まれた秀吉の子、鶴松が3歳で病死し、落胆の中、中国（明国）の征服、朝鮮の服属を目指し、朝鮮への出兵、文禄、慶長の役、という朝鮮との戦争をはじめます。その為に、秀吉は博多から少し西に離れた、佐賀県の小さな漁村に名護屋城を築きます。その名護屋城に先月、行ってまいりました。愛知県の名古屋ではなく、佐賀県の名護屋城です。規模は大阪城に次ぐ広大な城であったようです。城の周りには城下町が築かれ驚くべき、人口20万人とも言われるほどを繁栄したようです。勿論、今は天守閣などの建物は一切ありません。意識的に崩された石垣のある城跡です。日本海を近くに望む立地は当時の凄さを思い起します。名護屋城の周りには徳川家康、伊達政宗、前田利家、上杉景勝ら150を超える数多くの名だたる大名、武将が陣をはっていたようです。秀吉も滞留し日本の政治、経済、文化の中心だったのです。ただ名護屋城が使われたのは僅か7年間で秀吉の死でもって野望は夢となる訳です。併設して佐賀県立名護屋城博物館もあり、当時の状況を裏づける素晴らしい博物館となっています。当時、大阪城から「黄金の茶室」を運ばせ、黄金に包まれた茶室で大名、外国使節団との政治、外交上の重要な場面で披露したようです。自らの権威、財力を見せつけ、ここでも圧倒したようです。まさしく、先日のドラマは「いま太閤」権力のトップにあった秀吉。朝鮮出兵がトップに立って「見えなくなっている、狐に取りつかれる」状況での判断であるとのストーリーです。それにも増して、大きいのは秀吉の「老害」年寄りの判断ミスです。時に秀吉は50代の後半、時代は違うとはいえ、皆さん、私はとつても前からですがお互い気を付けましょう。秀吉は61歳で亡くなっています。トップと言え、今日は話題にしなければなりません。将棋の藤井聡太さんです。21歳です。史上初の八冠を独占しました。私は将棋を全くしません。5冠を獲得したときに、ご自身の将棋の現在地は富士山の何合目にあるかと問われ、「将棋はとつても奥が深いゲームで、どこが頂上か、まったく見えない。森林限界（樹木が生える上限）よりまだ下、森林を抜け切れてない。」と表現しています。将棋の指し手は無限大にあるらしいので、マシンの性能がどんなに向上してもすべての可能性をしらみつぶしに調べることは出来そうもないそうです。本日も、よろしくお願いします。

●幹事報告

佐藤直樹幹事

到着週報 鴨島 阿波池田 美馬 洲本各RC
到着書類 2022-2023年度 地区大会記録誌
連絡事項 10/19(木) 例会終了後 十楽寺ポリオ根絶祈願参拝

●委員会報告

●プログラム

卓話 卓話 ご指名をいただきまして、今この場に立たせてもらっています。しばらくの間、お付き合いをお願いいたします。私が前回卓話をいたしましたのが、今から四か月前の6月9日でした。当時の会長が第48代会長の北川さん、プログラム委員長が北川景子さんでした。その時に話しました内容は、私は1965年、昭和40年11月10日(水)に現在88歳になります父ヒロシ、現在81歳になる母ミチコの第2子として、浜田産婦人科でうぶ声をあげました。生まれた時の体重は2800gでしたが、現在の体重は79,600g。腹囲が910mmと生まれた時から比較を致しまして28倍以上にも成長しました旨の自己紹介から始まりまして、4年間東京で暮らしておりました学生生活でのことや、脇町ロータリークラブの野球部の一員となり、甲子園の土を二度も踏むことができたといった、私の薄っぺらな57年間

の人生経験の話をさせていただきました。本日は私の薄っぺらな人生経験第二弾と称しまして、この直近一年余りで私が実際に現場に赴きまして、見たり聞いたり歌ったり踊ったりしたことを話したいと思います。

話題その1。【ラフティング】

一年二ヶ月前の8月14日、去年のお盆に私と、帰省をしておりました横浜市在住で五つ年下の弟と私の娘と息子の親族4人で吉野川の大歩危小歩危をゴムボートに乗って川下りをするという、ラフティングなるものに挑戦してまいりました。娘が午後からの半日コースを予約してくれておりました。貸し出されたヘルメット、ウェットスーツ、ライフジャケットを着こみ、8人乗りのゴムボートに乗り込みました。ネパール人のガイド一人と私たち4人、大阪からの観光客3人の合計8名全員がパドルと呼ばれますオールを片手に持ちまして、迫りくる岩肌につつからないように舵を取りながら、急流を下っていきました。高低差があるスポットにさしかかかりますと遊園地のジェットコースターさながらに、前後左右に揺られ全身がびしょ濡れになりました。流れの穏やかなところではガイドにけしかけられて、ボードの縁にみんなで立つように言われ、ほどなくしてみんながバランスを崩して川に投げ出されました。一度川に落ちますと水深が深く当然足がつかないので、泳がなければならぬのですが、ボートにつかまってよじ登ろうとしても、自力では当然這いあがれません。ライフジャケットの肩紐を誰に掴んでもらい引き上げてもらうしかありませんでした。また川に転落してボートから離れて流された場合は、無理に泳ごうとせず仰向けでラッコのポーズを取って、救助を待つように教わりました。ゴルフ場ではウイスキーやビールを片手に過ごすことがありますが、ことラフティングに限っては、激しさゆえアルコールの注入、飲酒は絶対にご法度だと思います。実際に今年の5月には群馬県の利根川でラフティング中の事故によりまして、19歳の東大生がお亡くなりになったという事例もありました。私たちは大自然の中で生かされているという畏怖の念を持って行動すべきレジャーの一つだと実感しております。

話題その2。【NHKのど自慢】

10か月前の去年12月18日(日)に徳島市内の阿波銀ホールでNHKのど自慢の本番が行われましたが、その日の前日(土)に某会場で行われました予選会に私は出場してまいりました。応募方法と致しまして、郵便はがきかメールでの選択が可能で、住所、氏名、年齢、職業、性別、携帯番号、歌う曲、歌手名、選曲理由などの必要事項を記入致しまして本番の二ヶ月以上前の9月下旬に私はメールでお送りいたしました。徳島県内での開催は六年ぶりだとかで700通以上の応募者の中から抽選で210組が選ばれ、私のもとにも予選会出場を知らせる郵便封筒が11月下旬頃にNHKとくしま放送局から届けられました。予選会当日は出場番号1番から70番目の人が11時20分までに、71番から140番目の人が12時45分までに、141番から210番までの人が2時20分までに集合致しまして70人ずつが三グループに分かれ歌唱をする形式がとられていました。この出場番号は歌う曲名のあいうえお順であらかじめ決められています。例えばチューブの「あー夏休み」とか、美空ひばりの「愛燦燦」、superflyの「愛をこめて花束を」そういった楽曲を選曲致しますと、出場番号の若い番号が割り振られるはずで、私の番号は54番で、前川清が30年以上前にNHK紅白歌合戦で歌唱しました「男と女の破片」を選曲致しました。その前年には、「そして神戸」などで紅白出場しておりまして、内山田洋とクール・ファイブが全盛の頃の楽曲です。選曲理由としまして、『今から八年前に徳島大学病院で腎臓癌の手術を受け入院していた期間、この楽曲の男性を一途に思う切ない女心と、自らのどうしようもない不安な心境と重ね合わせ、何度も繰り返し聴いた思い出深い曲です。施設で暮らしている、のど自慢が大好きな父に元気な姿を見せて喜んでもらいたいです。』と書いて応募いたしました。ただ少し脚色が入っています。徳島大学病院で入院していたことは事実なのですが、当時病院では全く聞いてなくて、応募しようと思った時に、たまたま私の車のCDにかかっていた曲、ただそれだけの理由で選曲をいたしました。応募する際の選曲理由は、予選会出場の選考基準として最も重要みたいです。ただテレビに映りたい、目立ちたいと書いている人よりは、その当日に何かの記念日を迎える人や、置かれた環境が大きく変わり何かに頑張っている人、また大切な人が亡くなって、その人に歌を捧げたい人など誰もが共感を覚えるような選曲理由を書いている人が選考される確率が高いみたいです。のど自慢のテーマは「明るく楽しく元気よく」です。初老のおっさんが30年以上前の楽曲で、明るくも楽しくもない曲を歌ったんじゃ相当の歌ウマさんじゃなくて目立たないよねと、選曲ミスだったことを今素直に認めている今日この頃です。一人で歌唱できる持ち時間は、イントロも含め概ね50秒から60秒です。時間になりますとあらかじめ録音された若い女性の乾いた声で、ありがとうございますと音声流れます。本番当日もだいたい50秒から60秒ですが、合格の鐘を鳴らす人ですと、1分を超えてサビの途中まで歌わせてくれる人も中にはいます。今年の4月からは経費削減のためか、生バンドの演奏ではなくカラオケ音源に切り替えていますけれども、今までは予選会本番とも何十年もの間、プロが生演奏をしてくれていました。基本

キーの高さは原曲のみで、一音たりとも上げ下げしてもらうことはできません。イントロが長い曲ですと一人の持ち時間の約1分がイントロだけで終わってしまいます。そうならないようにイントロはすべて短縮してくれます。出だしが分からずに3回繰り返し演奏してもらっている人や、キーを合わせにくそうにしている人、歌詞をうろ覚えなのかメモを見ながら歌っている人が何人かいました。同じ曲が続く場面もあって、今回の女性ですと加藤登紀子の代表曲「百万本のバラ」を赤いドレスを着て歌った人も4、5人いました。その中でこの人が絶対に一番歌が上手だなと思った人は、本選に選ばれませんでした。必ずしも歌が上手い人だけが選ばれるのではないという、大人の事情を垣間見た瞬間でした。気をてらった衣装の人や被り物、コスプレの人も何人かいましたが、選考基準はあくまでも歌ですよ、ということでしょうか。歌唱が終わり舞台を降りますと、今年の3月まで十年間のど自慢の総合司会を務めていらっしゃいました、小田切アナウンサーがひとりひとりに声をかけてくれます。出場者名簿の選曲理由のリストを見ながら、「のど自慢を始めて体調はもういいの」といった具合です。210組中、当日欠席の人は4、5人ぐらいいました。すべての人の歌唱が終わったのが夕方5時ぐらいで、それから別室での審査の待ち時間を使って、舞台見学や記念撮影の場を設けてくれました。過去には希望者によるカラオケ大会が行われた時期もあったそうです。結果は残念ながら、当然か必然か、本番出場の18組の中には入れませんでした。その場で解散となりましたが、翌日の本番に出場する人は、その日の午後8時ぐらいまで事前打ち合わせを行ないまして、本番当日は朝7時30分、時間厳守で予選と同じ服を着て集合しなければならなかったそうです。私の、のど自慢出場の夢は、儚くも砕け散ったのですが、話には続きがあります。予選会出場の応募と同時期に、本番当日の観覧希望の往復はがきを3通だしてしまっていたところ、一つ当選しておりましてその当たり券を持ちまして、私と娘2人で当日会場へ出向きました。男性ゲストが若者に人気のあるGenerationsと呼ばれるEXILE系の7人組のグループでしたので、中高校生を含む幅広い世代の観客が詰めかけておりました。観覧券の抽選倍率も相当高かったそうです。生放送はお昼のニュースの後、午後12時15分から13時までの45分間ですが、現場では11時55分ごろから開催都市の首長、今回は徳島市の内藤佐和子市長が登壇して、歓迎の挨拶を行ないました。テレビでニュースが流れた12時過ぎからは、裏方の進行を務めます男性ディレクターが、観客に満面の笑顔と大きな拍手の練習を強要してきます。「徳島のお客さんの拍手は、今年、他会場と比較して15番目ぐらいかな？」何度か練習するうち徳島が一番ですと言って、おだててくれます。本番もこの調子で…。

ってなもんです。後日、録画したビデオを確認しておりますと、オープニングで客席最前列に陣取った出場者の何席か後方で、満面の笑顔と大きな拍手をしている親子がくっきりと映り込んでおります。(私と娘です。)ゲスト歌手の歌が終わり今週のチャンピオンと特別賞の人が発表され、小田切アナウンサーが次回の開催地の告知を致しまして13時にのど自慢の中継は終了します。現場では13時から、とくしま放送局男性新人アナウンサーが、緊張した面持ちで手に持つマイクを震わせながら進行して行きます。今週のチャンピオンの方がもう一度歌を歌唱しまして、ゲストのトークとゲストの歌唱が終わったのが13時30分ぐらいでした。いつも見ていたテレビの生放送とは一味違う現場ならではの醍醐味を堪能した2日間となりました。

話題その3。【コンサートあれこれ】

去年の大晦日、桑田佳祐の年越しライブに横浜アリーナまで行ってまいりました。桑田佳祐の67歳とは思えない、迫力ある歌声で今年の新年を迎えました。

4月23日(日)小田純平コンサート(大阪心斎橋パルコ14階ホール)に行つてまいりました。このホールは277席しかないホールですけれども、この前に行ったときは最前列のど真ん中で、今年は二列目でライブを楽しんでまいりました。この小田純平さんは、現在66歳で多数の楽曲を作っておりまして、カラオケにも私のお気に入り、好みの歌が何十曲も登録されています。皆さん小田純平、小田純平をどうぞよろしく、よろしく願いたします。

5月3日憲法記念日。プロ野球、オリックス西部戦を妻と2人で京セラドームまで行ってきました。バックネット裏13列目食事付きのシートでしたが、前のシートと足元の距離が非常に狭く、隣の人が席を立つ際には自分も立たなければ通過できないほどでした。

5月27日(土)岡本知高リサイクルが美馬市ミライズでありました。高知県宿毛市出身の46歳で世界に3人しかいない女性ソプラノ音域を持っている男性ソプラノ歌手です。発声する音域と音圧に度肝を抜かれました。

7月1日(土)B'zのライブに愛媛県武道館に行つてまいりました。プロ野球のオープン戦などやっています坊ちゃんスタジアムから歩いて行ける距離のところにあります。結成35年にして衰え知らずで、ますます進化している圧巻のライブパフォーマンスでした。

7月21日(木)穴吹駅すぐ西の国道で、7000円の入った財布を拾い、即日交番へ届けました。

8月3日(木)新日本フィルハーモニー交響楽団、美馬講演がミライズで行われました。本格的なオーケストラは生まれて初めて聞きました。

8月26日(土)玉置浩二コンサート(香川県観音寺ハイスタッフホールにて)行われました。「田園」「メロディ」など代表曲も歌ってくれまして、歌声には鳥肌が立ちました。さすがほかの歌手がプロ中のプロと絶賛するだけのことはあります。

9月2日(土)Superflyのライブが愛媛県武道館で行われる予定だったのですが、愛媛県出身の40歳の越智さんという女性ボーカルの喉の調子が悪く、Superflyのライブは今年全部が中止となりました。この間チケットの払い戻しを受けてまいりました。このSuperflyのライブを予定しておりました9月2日(土)当日に現在40歳の神田伯山独演会をミライズに行ってみりました。初めて講談を聞きました。20分くらいの一つの演目を右手に持っている張り扇のみで、聞き手に臨場感を与えながら、流暢に語る様はスゴい一言です。出版社大手の講談社の社名の由来はこの講談から来ていることも、この日に初めて知りました。

10月1日(日)シルクドゥソレイユ、フランス語なのだそうですがけれども日本語に直訳致しますと「太陽のサーカス」なんだそうです。演目アレグリア、新たなる光。森ノ宮ビクトップ大阪公演に行ってみました。会場内の売店では生ビール一杯800円。2杯連続で頼みました。シルクドゥソレイユの舞台の様子がプリントされたバスケットに入っていた小さなカツサンド4個が1400円でした。コロナが蔓延した2020年6月にカナダの会社更生法が一度は適用されましたが、五年ぶりの日本公演は大盛況で国内の観客動員総数は、私が行った翌日10月2日に80万人を突破したそうです。

来たる10月23日(月)には大相撲秋巡業徳島場所がアスティ徳島にて行われます。当日は、ぜひ会場へ足をお運びください。

本日の話のまとめを致します。何事も、生(ナマ)は最高です！
ご清聴ありがとうございました。

●ニコニコボックス

北川会員、平山会員、小野会員

●例会ダイジェスト

今週の見出し！

山中教授？ 卓話もノーベル賞級の破壊力！

1. 本日のお弁当。



2. どうする副会長！



1. フランス料理 カエルム料理店さん。

2. 休みなら、代わりに話そう、ホトギス。

3. 予選会の模様。



4. iPS細胞みたい！



3. 次回はきっと今週のチャンピオンです。

4. 何事も体験する人生経験を生(ナマ)解説。

次回例会

2023年10月19日(木)12:30～

清月屋敷

プログラム

卓話 六車会員

- ☆ 次の会員は例会欠席でした。 一井会員、上柿会員、川原会員、木下会員、郷司会員、千葉会員、友成会員、橋本会員、秦会員、藤村会員、藤原会員、南善幸会員、吉野会員、山本会員
メイクアップして下さい。
- ☆ 次回例会の出欠を黒川出席委員長まで連絡してください。